

豆電球「岩村の歌」に大合唱



なりアドリブで登壇もOK、時の経つのも忘れて皆んな一体となって豆ちゃんの世界に引きこまれていった。この間、出店の方は、ヨーヨー、輪投げやダーツ等で子供達は大いに遊びに興じていた。飲食コーナーでは焼き鳥、から揚げ、焼きそば、炊き込みご飯や、生ビール等客寄せ、呼び込み等で、早々と売り切れのコーナーも出る程だった。



次にお楽しみ抽選会は大人気で当選番号が読み上げられる度に一喜一憂で歓声とため息が聞かれた。

「恒石ゆうやショー」や子供カラオケ大会では、子供のパワーがはじめて観客を沸かせたが、大人も子供に負けるわけにはいかない、それぞれ自称歌手気取りで自己陶醉境を味わっている様だった。お祭りの前半は天気は小康状態だったが、段々雲行きが怪しくなつて遂に土砂降り状態になった。

星に願いを

豆電球のライブⅡが未だ始まったばかり、雨に負けじと岩村のパワー炸裂、雨音が聞えない程観客は一つになって「岩村の歌」大合唱となった。祭りは最高潮！終了予定の9時過ぎに、ふれあい祭りの会長より参加して頂いた方々に心からの感謝の言葉と「来年又必ず会いましょう！」の挨拶で幕を閉じた。

終わりに今年も岩村地区以外

6月30日(土)岩村公民館の「第2回七夕祭り」が開催されました。「子どもの元気が村の元気」といわれるように、地域を元気に活性させようと企画されたものです。

今年も、怪しい空模様の中の開催でしたが、七夕飾り付けの午前中は雨も落ちず、無事に12本の竹に飾りつけをすることが出来ました。各地区の子ども会や各種団体から、最高時は100人を超す人々にお集まりいただきました。

の高知市、香美市、香南市、日章、前浜等から多数の方々が増加してくれていたのが印象的であった。

今やこの「岩村ふれあい祭り」は岩村だけのものではなくなっている事を実感して、岩村の一住民として素直に大変嬉しく思いました。ありがとうございます。

(寄稿者・堀ノ内 近森孝一)

今回はあらかじめ、短冊に願い事を書いてもらっていたので、スムーズに仕上がりました。あつという間に七夕飾りが完成しました。



七夕祭り